

The Highlight of BOYS' Game

今大会の男子の注目度 No1 は第 1 シードの岐阜農林高であろう。なんと新人戦・県総体の決勝戦以外すべての試合で、相手チームを 40 点以内に抑え、優勝をしている。対抗馬は間違いなく第 2 シードの美濃加茂高だ。県総体の決勝リーグで唯一岐阜農林高のディフェンスを破り 50 点以上得点し、白星をあげた。また、県総体 3 位の富田高は順当にいけば準決勝で美濃加茂高との対戦となるだろう。県総体決勝リーグでは美濃加茂高から白星をあげており、H22 選抜大会以来の決勝進出を目指したい。中津川工業高は、県総体での雪辱をはらし 11 年ぶりの優勝を狙いたい。

男子は、ここ 10 年、全国大会への争いが混戦状態である。H19~20 に岐阜総合高・H21~22 に美濃加茂高が 3 冠を獲得したが、3 大会すべて優勝することはたやすいことではない。過去に王国を築き上げた岐阜農林高は、13 年ぶりの 3 冠達成なるか！！それを阻むチームが現れるか！！楽しみな大会になりそうだ。

A

各地区の上位が集まる A ブロックは熾烈な戦いとなりそうだ。まずは、「ひたむきに！一生懸命に！」を合言葉にバスケットボールと向き合う岐阜農林高校。今大会でも、基礎基本の反復・徹底で確立した強固なディフェンスに注目したい。スピードと得意のドリブルワークを活かして、相手をかき回す #4 PG 松岡（3 年・大垣東中）、190cm ながらオールラウンドな動きができるようになった #17 PF 増本（2 年・大垣東中）、得意のシュート力を生かし、得点を量産したい #5 SG 野原（3 年・糸貫中）らを中心に、県総体王者の座に甘んじることなく一戦一戦ファイトとして戦う。過去選抜大会 27 回優勝の歴史を背に、新たなる記録を刻むべく今大会に挑む。

そして、王者岐阜農林への挑戦権をかけて、各地区の上位校が激しい戦いを繰り広げるだろう。まずは大垣工業高。スローガンである” Play Hard, Play Smart, Play together”のもと、激しいディフェンスからの速攻をみせてもらいたい。#4 F 中村（3 年・垂井北中）は、小柄ながら鋭いドライブを武器にガッツ溢れるプレーでチームを引っ張る。広い視野でゲームをコントロールし、チームメイトを最大限生かす #5 PG 坂本（3 年・垂井北中）や、#7 SG 倉光（3 年・神戸中）の 3P シュートとチーム 1 のディフェンス力で頂点を目指す。

次に、多くの練習試合こなし獲得してきた、個々の経験値の高さで挑むのが大垣養老高だ。#4 PG 松岡（3 年・大垣東中）を中心にミスを恐れずアグレッシブに戦う。#5 F 木全（3 年・不破中）のミドルシュートと 3P シュートで流れを掴み、インターハイでの雪辱を晴らし準決勝への進出を達成したい。益田清風高の活躍も注目したい。「最後まで諦めず、粘り強く戦うチーム！」として、#4 PG 奥田（2 年・萩原南中）の根気強いディフェンスと突破力を生かし、最後までボールを追いかけ続け精一杯のプレーを見せてくれるだろう。可児工業高は、試合を見に来てくださる選手の家族・OB などへ最大の感謝を込め、一戦一戦集中して戦いに挑んでくる。激戦区の A ブロックで、逆境に立った時、不屈の闘志を見せてくれる選手が活躍してくれるはずである。

B

昨年の選抜大会王者美濃加茂高は、県総体において得失点差で全国大会を逃した悔しさを晴らすために、厳しい練習を乗り越えてきた。ねばり強いディフェンスで相手のミスを誘い、速攻に持ち込む展開で 3 年連続 6 回目の優勝を目指す。全員バスケットボールとなつて #4 瀬瀬（3 年・西陵中）を中心に、#7 PG 安藤（3 年・西可児中）が巧みにゲームコントロールし自らも得点を狙う。#13 C 松浦（2 年・西陵中）のリバウンドに対する執念や、#6 C 梅田（1 年・犬山中）の 190cm を超える長身を生かした、ゴール下からペイント付近のシュートで、確実に頂点へのステップを踏んでいこう。

長良高は、チームの司令塔である #4 森田（2 年・藍川中）がどんな指示をチームに出すのか注目したい。#5 C 下村（2 年・糸貫中）の脚力を生かしたプレーで、一戦一戦地道に得点を狙っていく。今大会でもベスト 8 を狙う。加茂農林高はこの夏にディフェンスを強化してきた。#17 C 根本（3 年・小泉）や #18 PG 江口（3 年・蘇南中）の多彩なシュート

とスピードあるドライブも期待したい。また、県岐商高の最後まで走り切るバスケットにも注目したい。#4PG 祖父江（2年・真正中）の他をよせつけないスピードと広い視野をもったゲームコントロール力や、#5C 川崎（3年・高富中）の相手に物怖じせず力強いプレーでチームを引っ張るプレーで、目標であるベスト8に駒を進めてほしい。

C 県総体決勝リーグで、唯一美濃加茂高に競り勝った第3シートの富田高校。“Sky's The Limit(限界はない)”をモットーに、高校生らしくはつらつとした躍動感あふれるバスケットに期待が高まる。試合に出る選手もベンチも応援団も自分のやるべきことに徹し、一体となって勝利に向かってほしい。切れ味鋭いドライブで相手を抜き去り、得点を量産する#4PG 山田（3年・各中央中）、伸びのあるランニングシュートと入りだしたら止まらないシュートでチームの救世主となってほしい#5SG 市村（3年・岐阜西中）、正確なジャンプシュートと魂のこもったプレーでチームを引っ張りたい#7SG 津谷（2年・大垣東中）、読みの鋭いスティールと一年生離れた度胸あるプレーで勝利に貢献する#8 林（1年・大垣東中）。チーム一丸となって全国大会初出場の切符を手にもってほしい。

県総体で激闘を制し、見事に8シートに返り咲いた高山西高校が富田高をどれだけ苦しめることができるかも注目だ。土岐商高は、高さがないので、ホールコートで展開するための機動力を活かしたバスケットを目指している。司令塔としてチームの中心的な役割を果たし、ゲームを組み立てる#4PG 猪倉（3年・西陵中）、チームの縁の下の力持ちでディフェンスの要として貢献している#5SG 大矢（3年・駄知中）、身長は高くないが何でも器用にこなす#6F 中山（3年・泉中）、速攻の要として#8F 加藤（3年・平和中）にはコート駆け巡り、今大会成績をどこまで伸ばすか見ものだろう。

「全員で声を出し、ディフェンスを頑張り走り勝つこと！」を目標にしている大垣南高。#4 PG 濱野（2年・西部中）が得意のドライブとボールキープ力を活かして、起点となってゲームを作ってくれるだろう。また可児高は「文武両道」を実現したい。チームの精神的支えである#4 G 三橋（2年・蘇南中）は、小柄ながらドリブルワークと視野の広さが抜群であり、オールマイティな活躍をみせる#5 SF 曾賀野（2年・蘇南中）とのコンビネーションで、5カ月培ってきた粘り強さとトランジションを発揮し、勝ち進んでいてほしい。

モットーである『全力・真剣・挑戦』を柱に、バスケットボールを通じて人間性を高めてきた中京高。キャプテンである C 青山（3年・福岡中）のガッツ溢れるプレーや、#5 F 熊澤（3年・東白川中）のミドルシュートで、3年生の最後の大会に勝利を飾ってほしい。

毎日の練習では、「手を抜かず！持てる力をすべて発揮する！」ことを目標としてきた大垣商高。#4 山村（2年・大野中）のスピードのあるドライブやカットインで得点を狙う。どのチームもベスト8をかけて美濃加茂高と土岐商高に挑んでいく。

inter cup 2014

D 第4シートの中津川工業高が、3年連続の決勝戦のカード 岐阜農林高対美濃加茂高を阻止できるか楽しみだ。持ち味である、粘り強いディフェンスからトランジションを早くした「走るバスケット！」を展開し、チーム一丸となって1試合1試合を大切に戦う。#4 PG 鶴飼（3年・恵那西中）がスピード・パワー・ディフェンス力を生かしチームをリードし、国体を経験した#6 F 木村（3年・陶都中）のアウトサイドとインサイドのプレーで、ゲーム主導権を掴んでいきたい。また、#7 SG 安江（3年・坂本中）が3Pを量産し、全国大会へ上り詰めるのか目が離せない。岐阜総合学園高は、アグレッシブなディフェンスからの速攻を中心として、どこからでも得点がとれるオールラウンダーな#4F 森口（3年・青山中）や、#5F 新川（3年・揖斐川中）の得意のミドルシュートで相手を翻弄し、チーム全員の粘り強い全員バスケットで悲願の決勝を目指す。

完全燃焼を目指す斐太高は、#5 SG 酒井の負けん気の強さでチームを盛り上げ、一つ一つのことに全力を尽くし頑張り続けてくれるだろう。高山工高や恵那高の動向にも注目したい。